▲▼▲第45回クリエイティブサロン（2016年9月17日）開催報告▲▼▲

第1部講演会：「ニート・引きこもりを招く、高校中退の現状、その解決策」

講師：杉浦 孝宣　（ NPO法人 高卒支援会　代表）

教育理念
子ども達が規則正しい生活をし自信を持ち自律し社会に貢献できる未来を実現する
【3つの条件が揃えば立ち直る！】
約50年前、自身の不登校の立ち直り経験と30年以上に及ぶ、不登校、高校中退者に対応して来た経験則として、3つの条件　①生活リズム改善　②勉強に対する自信　③環境（人間関係）改善　が揃えば、子ども達はほぼ、立ち直ります！
【高校中退の現状】文科省の統計によれば、高校中退者は年間、6万人。20年以上も前から同省は統計調査しており、高校中退者の60％が高校一年生の時期。高校中退＝中卒となり、ハローワークで、求人が少なく,高校卒業は最低限の社会保障のカギとなっている。高校中退,フリーターを経て、引きこもりとなる人は内閣府調査によると、昨年度の引きこもりは54万人。不登校→高校中退→フリーター→引きこもりと負の連鎖を断ち切る必要がある。
【高校中退の理由】高校中退の理由の大半が 「高校で勉強する意味が分からない」等、高校進学したものの、無気力で辞めてしまうケースが多い、当会では第一に不本意入学（第一志望の高校を落ちて）して、転校希望者、不祥事（法律違反、芸能活動）、校則違反、スポーツ推薦,成績不振など、様々。
【高校中退対策】無気力で高校を辞めてしまう対策としては幼児期からのキャリア教育が必要。また、高校中退の理由も様々で、本人がやる気があれば、やり直せる、高校への再入学、学び直しの制度を整備するべきと考える東京都立高校は学び直しのために学期毎に補欠募集で高校再入学の機会を全国に先駆けて行っている。
【ご協力のお願い】当会の相談者は保護者からが多く、中々、本人から問い合わせは少ない。お知り合いで、不登校・高校中退・引きこもりで悩んでいる方がいらっしゃいましたら、是非、当会を紹介して下さい!
現在、LEC東京リーガルマインド様、養老乃瀧様か無償教室提供を頂いておりますが、いずれも月から金までの17:00までです。土日の相談会場、平日の17：00～22:00の個別教室を探しております。
テナント料無料は授業料を更に安くでき、より多くの子ども達を救えることに繋がります。
ご協力宜しくお願いします。　　（記事: 杉浦孝宣）

第2部講演：　「創造性の未来」フューチャーセッション」

講師：野村 恭彦（㈱フューチャーセッションズ 代表取締役 / 金沢工業大学(KIT)虎ノ門大学院 イノベーションマネジメント研究科 教授）

企業での新規事業創造や地方自治体での地域活性化など、様々な場面で社員や市民が組織の壁を越えて集まり対話し、アイデアや協業を生み出していくワークショップ活動が盛んである。しかし、その問題を解決するための「ステークホルダーは誰なのか？」という視点が欠けているところがある。フューチャーセッションの最大の特徴は、既存の問題や課題を再定義することで、「このステークホルダーが協力し合えば変化が起きるだろう」という、新たなシステムの箱庭をつくることである。（株）フューチャーセッションズは、フューチャーセッションを次のように定義している。

“未来の新しい仲間を招き入れ創造的な対話を通して、未来に向けての「新たな関係性」と「新たなアイデア」を生み出し、新しく集った仲間同士が「協力して行動できる」状況を生み出すための場”

フューチャーセッションでは、既存の問題の当事者だけでなく、非当事者も交えて、「未来思考」で対話する。そして、今までにはなかった協力関係を生み出していく。未来思考は、多様な「未来の仮説」を生み出したうえで、その仮説が成り立つための成立条件を未来から振り返って予測する「バックキャスティング」を基本としている。そのため、多様なステークホルダーが持つ、それぞれの想いや願いが発想の起点になる。

この日のテーマは、「2022年 日本の創造性の未来」。非正規雇用の増加、複業、定年延長、女性活躍、ワークシェア、地方創生、AIの進歩などが「創造性のあり方」を大きく変えていくであろう。そのなかで、日本の創造性の未来を考えることで、ビジネスや教育のあり方を再考することを目的として、短時間のセッションを行い、下図のように「日本の創造性のあり方」について、4つの異なるシナリオを生み出した。それぞれのシナリオの世界観で求められる、異なるタイプの創造性をいかに育んでいくべきか、今後も学会で議論していきたい。　　（記事: 野村恭彦）

2022年「日本の創造性の未来」4つのシナリオ